

令和5年度・取組と実績 (3R推進協議会構成団体)

株式会社 いなげや	1 ページ
株式会社 京王ストア	2
生活協同組合コープみらい	3
株式会社 三徳	4
イオンマーケット株式会社	5
株式会社 マルエツ	6
丸正チェーン商事株式会社	7
株式会社 ファミリーマート	8
株式会社 三越伊勢丹	9
株式会社 小田急百貨店 新宿店	10
株式会社 京王百貨店	11
株式会社 高島屋新宿店	12
株式会社 丸井 新宿マルイ本館	14
株式会社 ルミネ	15
株式会社 エフピコ	16
日本マクドナルド株式会社	17
コカ・コーラ ボトラーズ	
ジャパン株式会社	18
新宿区商店会連合会	19
新宿区生鮮三品小売店連絡会	20
四谷清掃協力会	21
牛込清掃協力会	22
新宿西清掃協力会	23
新宿区婦人団体協議会	24
新宿区エコライフ推進協議会	25
NPO法人 新宿環境活動ネット	26
新宿区のリサイクルを考える会	27
新宿環境リサイクル活動の会	28
新宿区リサイクル活動センター	29
(公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター)	
新宿区	30

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)いなげや

◎環境・3Rに対する考え方

当店では、店頭での資源回収の他、野菜くずを使った食品リサイクル、リサイクルトレーでの精肉の販売など、会社全体として3R推進に取り組む。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	レジ袋有料化の継続 店内放送・POPなどの告知 媒体でマイバッグ持参のPR 実施 ギフト箱の簡易包装推奨 辞退率の低い店舗の要因分析・対策	レジ袋辞退率の 3%アップ(80%台) ノンラベルペット ボトル商品販売拡大 (数量未確定)	2023年度辞退 率77% 目標達成できな かった
(2)	資源の店頭回収の 推進	店頭回収の継続実施 (紙パック・プラトレー・ ペットボトル) 資源分別の啓蒙	ペットボトル圧縮 回収機増設(2台以 上)	2023年度中に 回自動回収機増 設できなかった
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	発注制度の向上 在庫の適正化 ワンウェイプラスチック製品の削減	・ワンウェイプラ スチック製品使用 前年比7%削減 ・食品排気量前年 比3%以上削減	・ワンウェイプ ラ前年比0.1% 増 ・食品廃棄物等 前年比23%削 減
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネル ギーの活用などゼロ カーボンの推進)	食品残渣の飼料化・肥料化 推進 ワンウェイプラスチック製品の削減 オリコン(通い箱)活用・ 段ボール削減 資源分別の啓蒙	食品リサイクル率 前年比2%増 ワンウェイプラス チック製品の使用 前年比7%削減	・食品リサイク ル率9%増 ・ワンウェイプ ラ前年比0.1% 増

◎取組の実績と今後について

上記はいずれも全社取り組みでの数値結果です（仕組み上、個店での提示ができません）

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：京王ストア

◎環境・3Rに対する考え方

京王ストアは、新宿区の皆様方と共同で3Rの推進に協力致します。エコマーク付き商品をはじめ、リサイクル商品、無添加商品など、無理なく環境への影響を少なくする商品を幅広く用意している。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	・店内放送、POでマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・簡易包装の推進 ・声掛けなどの実施	レジ袋削減に向けてレジ袋辞退率75.0%の実現 (全店平均)	レジ袋削減率61%
(2)	資源の店頭回収の推進	・店頭回収3品目（牛乳パック・トレイ・ペットボトル）を継続して実施	・店頭回収品目ごとに各種1台ずつを継続	全店にリサイクルボックス。 一部店舗にペットボトル粉碎機を導入
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	詰め替え品の販売促進	継続実施	詰め替え商品を中心、販促の強化を実施。
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	・食品残渣のリサイクルの検討 ・コピー用紙の削減 ・センター納品による（段ボール削減）	継続実施	コピー紙の使用制限（確認）を実施。 目標値を作ることで削減意識が高まる。

◎取組の実績と今後について

現在実施していることは継続的に実施。マイカゴの普及を拡大し、レジ袋の削減に努める。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：生活協同組合コープみらい

◎環境・3Rに対する考え方

「100年後の地球のために」を合言葉に、生産から消費まで、つくる人・つかう人の双方の立場から責任ある事業と活動を進め、持続可能な社会づくりに貢献します。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> 1980年代から続くレジ袋有料化を継続し、マイバッグ持参の呼びかけを実施します。 店舗における畜産ノントレー商品の販売に取り組みます。 	継続・実施 •令和4年度のレジ袋辞退率86.0%の水準を継続	
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> 宅配の商品配達時、店舗店頭で、8品目のリサイクル資源を回収しています。 6月の環境月間にリサイクル推進の特設サイトを開設し、組合員の意識向上につなげます。 ペットボトルキャップ売却益を開発途上国の子どもたちへのワクチン支援につなげます。 	継続・実施	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> 物流の事情等で組合員に提供できなくなった食品をフードバンクに寄贈します。 店舗等へ常設型のフードドライブボックスを設置し、組合員とともに食品ロス削減に取り組みます。 不揃い・ハネっこ・天候被害など規格外農産物を訳を伝えて積極的に販売します。 「てまえどり」の取り組みを強化します。 商品の納品期限(1/3ルール)を見直し賞味期限180日以上の商品について1/2ルールで運用しています。 容器包装プラスチックの使用量削減に向けて、PB商品の包装簡略化・軽量化、詰め替え商品の利用推進、再生プラスチック・植物由来プラスチックを活用した商品開発を進めています。 	食品廃棄物、食品ロスの削減を進めます。食品廃棄物は2030年までに2018年度比50%削減します。 事業における容器包装と資材の使用量を削減します。プラスチックは、2030年までに2018年度比25%削減します。	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> 食品残さ、魚あら、廃食油、古紙、発泡スチロール、段ボール、古紙のリサイクルを行っています。 物流センターや店舗から排出される食品残さでバイオガス発電を行い、発電された電気はコープの各施設や「コープデリでんき」として組合員家庭で利用します。 店舗や宅配センター等の施設への太陽光発電設備の設置を進めます。 	事業から排出される温室効果ガスを、2030年に2013年度比60%削減します。	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)三徳

◎環境・3Rに対する考え方

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新店オープン時マイバッグをプレゼントして協力を呼びかけ ・辞退者へのエコポイント付与 ・ノーレジ袋カードの設置 ・マイバッグの販売 	レジ袋削減 持参率30%	
(2)	資源の店頭回収の推進	<p>資源物の店頭回収を継続して実施（トレー、牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶）</p> <p>ペットボトルは包装業者と協力してリサイクル拡大</p>	不	
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	詰め替え品の販売促進	不	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー の活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な販売計画と売り切る工夫で廃棄を削減 ・リターナブルコンテナの利用を拡大し、産地直送、農家、生産者との協力 	職員リサイクル率 前年度比5%増	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：イオンマーケット株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

地域のお客さまの「毎日の暮らしと環境に配慮した行動」のお役に立てるスーパー・マーケットを目指します。

項目	取組内容	数値目標等	実績
(1) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	プラスチック製レジ袋を有料配布(LL5円・L3円)とし、お客さまへマイバッグご持参を呼びかけ、使い捨てプラスチックの削減に取り組みます。有料レジ袋はバイオマス素材配合のものを使用しています。(LLサイズ50%、Lサイズ30%)	レジ袋辞退率を維持し、少しでも使い捨てプラスチックを減らせるよう、お客さまへのご理解とご協力を呼びかけます。	令和5年度の最終辞退率は、目白店75.2%(+0.4)、高田馬場店77.3%(+0.1)
(2) 資源の店頭回収の推進	紙パック トレイ ペットボトル 店頭回収の継続実施	本年3月よりボトルトレーの資源循環の取組を開始しました。店頭回収した全量を資源として再生工場へ引き渡せるよう、分別の啓蒙に力を入れます。	令和5年度の回収実績は、紙パック 180kg、食品トレイ 1,085kg、ペットボトル 1,058kg
(3) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	お客さまのご家庭でゴミが減らせるよう、食べきり少量パック、ばら売り、詰め替え用商品の取扱いを推進します。 本年4月より、目白店・高田馬場店が新宿区フードドライブ窓口となりました。区民の皆様とともに地域の食品ロス削減と有効利用に努めます。	数値目標なし	お客さまからたくさんのお食事をご提供いただきました。ご提供いただいたお食事は食糧支援を必要とする方々へお届けいたしました。
(4) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	食品廃棄物の減量化推進とリサイクルの推進を継続します。	食品廃棄率の監視を行うことで発生抑制につなげ、分別により確実なりリサイクルを推進します。 食品リサイクル率引き上げを目指します。	目白店、高田馬場店ともに前年度より食品廃棄率を低減できました。

◎取組の実績と今後について

令和5年4月より新宿区フードドライブ提供窓口となり、地域の皆さまから多大なご協力をいただきました。引き続きフードロスの削減と未利用食品の有効利用を、地域の皆さんと共に推進をいたします。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社マルエツ

◎環境・3Rに対する考え方

お客さまと地域社会の未来を見据えた環境保全活動を進める。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	例) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> 店内放送、POP等でマイバッグ持参の呼びかけを実施 レジ袋削減の推進 ばら売りの実施（青果・果物） ギフト品の簡易包装の推奨 	レジ袋未購入率 78%以上	未購入率 77.7%
(2)	例) 資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> 店頭で2品目（紙パック・食品トレイ）を区内8店舗で回収 ペットボトルキャップの回収（売却益を途上国のワクチン第として寄付） 	回収2品目について 前年比1.0%アップ	前年比 5.4%ダウン
(3)	例) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食品廃棄の削減 社内環境教育の実施 食品リサイクルの実施 	食品リサイクル法の 再利用実施率 72.7%以上	再生利用実施率 76.3%
(4)	例) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	可燃ごみの削減	前年比の3%削減	前年比 8.9%削減

◎取組の実績と今後について

ペットボトルキャップの売却益は、1,382,160円となり、令和5年度分として、令和6年7月に寄付いたします。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：丸正チェーン商事株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

区内事業者（店舗）との情報共有と取り組み強化

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	マイバック持参の強化	-0.15	
(2)	資源の店頭回収の推進	リサイクルユース対応の 促進	店舗独自に設定	
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	環境にやさしい素材の導入 促進	〃	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー の活用などゼロカーボン の推進)	対応の促進	〃	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社ファミリーマート

◎環境・3Rに対する考え方

環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献する為、2030年及び2050年に向けた中長期目標として、「ファミマecoビジョン2050」を策定し、「温室効果ガス(CO₂排出量)の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマにもとづき、中長期的な数値目標を設定して取り組んでいます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	例) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①容器、包装の形状見直しによるプラスチックの削減 ②容器、包材にバイオマスプラスチックや再生PET等代替素材への変更	オリジナル商品の容器、包装に環境配慮型素材使用 2030年60% 2050年100%	パスタ容器の軽量化、バイオマスプラ配合、着色剤削減。 ドライ飲料ラベルサイズ半分に縮小
(2)	例) 資源の店頭回収の推進	①レジ袋有料化(3円～7円) ②お客さまへ必要かどうかの意思確認 ③フォークの配布原則中止 ④店内放送、店頭ポスター、レジ周辺の告知	オリジナル商品並びに用度品を含めた環境配慮型素材の割合2030年までに70%	2023年度レジ袋辞退率(全店舗)は77.8%
(3)	例) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	①商品の発注精度向上 ②容器包装の改良等によるロングライフ化の推進 ③消費期限の近い商品の値下販売	食品ロス削減 2018年対比 2030年50%削減 2050年80%削減	中食商品を対象に値下販売(ファミマのエコ割)を活用し、消費期限の近い食品の販売を推奨。
(4)	例) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	①ごみの分別の徹底 ②食品残渣の飼料化等リサイクル		食品残渣のリサイクル実施、全国で約3,400店舗

◎取組の実績と今後について

ファミマecoビジョン2050にもとづき、環境に配慮した事業活動を継続

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社 三越伊勢丹

◎環境・3Rに対する考え方

三越伊勢丹グループは、お客さまをはじめ、かかわりあるすべての人々と向き合い、人と地球環境が調和する持続可能な社会の実現に向けて、環境保全活動を社会に対する企業としての責任と捉え、実行していきます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	<ul style="list-style-type: none">・従業員・取引先販売員への教育・スマートラッピングの推進（店内放送等を通じたお客様への呼びかけ）・三越伊勢丹オリジナルコンパクトバッグの販売等を通じた、マイバッグ使用の拡大	<ul style="list-style-type: none">・容器包装使用量の売上当たり使用量前年度比10%削減	▲34.7%
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none">・マテリアルリサイクル対象資源の拡大検討	—	—
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	<ul style="list-style-type: none">・従業員教育の推進・クリスマス、節分などの予約販売・天候を踏まえた販売計画・食品廃棄物総量の削減	<ul style="list-style-type: none">・食品廃棄物の売上当たり発生量前年度比3%以上削減	▲8.5%
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー の活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none">・従業員・取組先販売員に対する分別教育の実施（年2回）・食品、レストランテナントへの生ごみの分別依頼の徹底	<ul style="list-style-type: none">・リサイクル率82%以上	83.7%

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社 小田急百貨店 新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

小田急百貨店は、「企業活動を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、百貨店業としての自覚と責任を心がけ、環境保全に配慮し、地球環境にやさしい生活提案を行い、環境に負担をかけない豊かな社会生活の実現に貢献する企業活動を行います。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> スマートラッピングの推進 (お客様へ簡易包装のお声かけ、適正サイズの包装資材使用を推進) 買物袋使用量削減の促進 (手提袋の有料化を実施し、マイバッグの利用促進) 	<ul style="list-style-type: none"> 紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量前年比20%削減（数量換算、売上増減率に正比例）及びプラスチック製手提袋使用量対前年20%削減（数量換算、売上増減率に正比例） 	<ul style="list-style-type: none"> 紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量前年比28.2%削減 紙製手提袋1色廃止 ・プラスチック製手提袋使用量対前年3.2%削減
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> アパレルメーカーに限定せず、お取引先との協業による、資源の店頭回収キャンペーンの実施 	—	・計画通り実施
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食品残渣の飼料化推進 (日本フードエコロジーセンター) 	—	<ul style="list-style-type: none"> 実施 ※11月より廃棄物処理業者変更のため、別の飼料化システムを利用
(4)	例) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルの推進 会議用資料のペーパーレス化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物最終処分量5%削減（対前年） 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物最終処分量5%削減（対前年）

◎取組の実績と今後について

令和5年度は、令和4年10月2日をもって新宿店本館の営業を終了したことを勘案し目標を設定した。紳士服・婦人服の売場がなくなっていることから、特定プラスチック(ハンガー)の使用量は対前年69%の削減となった。令和6年度は前年に対して大幅な削減は難しいことが想定されるが、各項目の取り組みを行い、廃棄物の削減、資源の再資源化を進めていきたい。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)京王百貨店

◎環境・3Rに対する考え方

京王百貨店は地球環境の保全を常に念頭に置いて企業活動を行い、「人のよろこびを大切に」をモットーに、人と環境にやさしい企業を目指します。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①当社買物袋の有料化： プラスチック製ならびに紙製買物袋の有料化を実施し、お客様のマイバッグ利用促進と買物袋使用量削減を促進。 ②スマートラッピングの推進： お客様へ簡易包装のお声かけ、社内で適正サイズの包装資材の使用を推進 ③リサイクルマイバッグの販売： 収益の一部を「高尾の森づくりの会」へ寄付	①、②容器包装使用重量の前年原単位比減を目指す。 ※原単位＝容器包装使用重量÷購買客数	①②容器包装（ポリ袋・紙袋・包装紙等）前年原単位比8.3%削減 ③実績814枚 ※①、③による収益の一部を「高尾の森づくりの会」へ寄付し、植樹・育樹活動を支援（当年度：苗木換算で約300本）
(2)	店頭回収の推進	①衣料品関連の引取りキャンペーングの開催（婦人・紳士衣料） ②リサイクルショップの常設	年10回～20回開催予定	実施回数：34回 ※年度をまたぐ6回含 (前年差：15回増) 合計：85,051点 (前年差：2,170点増)
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	食品ロス削減につながる商品・使い捨てプラスチック削減につながる商品の展開	—	・訳あり商品販売：中元歳暮期において「不揃い」「無選別」「割れ欠け」等の商品販売 ・季節商品（Xmasケーキ、おせち他）予約販売の拡大による当日の過剰なロス発生を抑制。 ・マイボトル、チタンストロー等の販売
(4)	事業系ごみの削減	①ペーパーレス化の一層の推進。 ②生ゴミ分別を徹底し家畜等の飼料として再利用の拡大を図る。	リサイクル率前年差向上	①事務所の半数強にフリーアドレスを導入し、ペーパーレス化を推進 ②リサイクル率前年差74.1% (1.8%ポイント減)

◎取組の実績と今後について

(1) 店頭回収キャンペーンを開催する取引先が増えている。今後も取引先やお客様にもご協力いただきながら、資源循環に対する啓発活動に努める。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)高島屋新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

高島屋グループの中核事業である百貨店事業では、現行のビジネスモデルが環境負荷を前提としている事をリスクと捉え、従来型のビジネスから地球資源を再生・修復するビジネスへと変革していく事が必要と認識。循環型社会の実現に貢献する“循環型ビジネス” “廃棄プラスチック・食品ロスの削減”などの重点課題を設定し、全ての人が21世紀の豊かさを実感できる社会の実現に向けた取り組みを推進していく。

項目	取組内容	数値目標等	実績
(1) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①お客様への簡易包装のお声掛けの更なる徹底。 ②職員マイバッグ運動の推進。 ③従業員教育の強化 ④マイバック利用促進に向けたバック粗品の配布やお声かけの継続	○買物袋・ビニール袋・包装紙などの使用量の前年維持 ※コロナ禍からの脱却による売上・購買点数が明確な中、明らかな増加に結びつかない取組が必要。	<u>(※発注量で比較)</u> ・紙買物袋（手提げ袋含）±0% ・ビニール袋 10.0%減 ・包装紙 25.0%減
(2) 店頭回収の推進	婦人紳士服リサイクル回収はじめメーカー主催（協働）の衣料品回収キャンペーン、きものの悉皆を強化。	各社ごとの回収（クーポン発行）の前年比3%アップが目標 ①ワールドエコモキャンペーン ②三陽商会サイクルキャンペーン ③オクトドグリーンキャンペーンなど	■衣料品回収キャンペーン ・取引先：13社（前年比+8社） ・参加客数3,676人（同56.4%） ・発行クーポン数22,519枚（同+72.6%） ■悉皆 ・売上：前年比+15.2 % ・数量：同+5.3 % ・客数：同+46.0 % ■フードドライブ実施
(3) 食品ロス削減の推進	社員食堂の生ごみ（調理くず、食べ残し別）の更なる削減と改善策の検討・実施	社員食堂の生ごみ3%削減	【測定期間】 令和4年3月～令和5年3月 期間排出 20,877 t ※前年比 +9.2%
(4) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー等の検討、ゼロカーボンの推進)	・紙類（雑紙）分別運動の更なる現場への浸透化（従業員教育の実践。レストランなどテナントへの分別徹底の指導強化など） ・地域冷暖房システムの有効活用によるCO2排出量の削減（新宿南エネルギー サービス）	・建物全体のごみ総量3%削減。 ・建物全体のリサイクル率80%達成。 ・CO2排出量1%削減。	・一般廃棄物 1,929 t (前年比+8.4%) ・リサイクル率合計 79.0% (前年比+0.2%) ・CO2排出量 23,100t (前年比▲2.7%)

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)高島屋新宿店

◎取組の実績と今後について

- ①容器包装・ビニール袋の削減は、前年に引き続き「エコ包装のお声掛け」、「無駄な二重包装、過剰包装の削減」という意識面での従業員・お客様双方への啓蒙活動が浸透しており、特に中元・歳暮ギフト配達において、お客様（送り主）への簡易包装（エコ包装）への協力要請・理解促進に努めた。又、レジ袋の有料化が奏功し、マイバックがファンシ化するなど社会への浸透が進み、改善要素となっている。今後も更なるマイバック利用促進に繋がる営業施策を検討・実施し、効果が上がるよう推進していく。
- ②リサイクル回収運動については、本年より社内外に対するフードバンク活動を推進し、一定の成果を得た。加えて、衣料品の回収キャンペーントにおいては参画する取引先が増え、より一層の成果をあげたものの、お客様の認知度・参画度合いに比べ、従業員の度合いは低く、次年度の運動への参画促進に向け、アクションが必要と認識している。
- ③社員食堂の生ゴミ削減については、提供数の増（+10%）による調理クズの増加があったものの、啓発ポスター等の情宣活動により、「食べ残し」についてはエコ意識が浸透している。米飯については食べれる量を自己申告するなど、継続したエコ意識の浸透を推進していく。
- ④事業系ごみの削減（包装容器の削減も含む）については、客数増等、特殊要素により、総量は増加し、リサイクル率は若干向上できたものの、目標を達成できなかった。これまで取り組んできた削減や分別の意識が形骸化しないよう、取り組んでいく。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：(株)丸井 新宿マルイ本館

◎環境・3Rに対する考え方

丸井グループのミッションは『すべての人がインクルーシブで豊かな社会』。その中でく将来世代の未来を共に創る>を目指す為、戦略としては、①「再エネ導入・自社発電保有」②「商品・委託先の低炭素化」③「環境配慮型店舗への転換」④「事業構造の最適化」を計画しています。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	再生可能エネルギーの促進 <丸井G>	①GHG（温室効果ガス）の排出削減 ②省エネの促進 ③再生可能エネルギーの使用量拡大	①2030年までに80%削減、今年度2%削減（現状70%） ②前年より10万GJ削減 (22年度176万GJ) ③再生可能エネルギー比率68%(+7P)。	①資料未確定②Scope1,2の合計8万t、Scope3 計23万t削減③再生可能エネルギー比率68%(+7P)。
(2)	「脱プラスチック」の取組強化 <丸井G>	①世界的な活動「プラスチックフリージュライ」への参画（23.7月） ②分別の徹底 ③「脱プラスチック」に賛同するお取引先支援	原材料使用量「プラスチック容器」の継続的削減（▲10%、▲3トン）	19年3月対比▲90%（▲266t）、22年3月対比84%（▲5t）
(3)	分別促進による「リサイクル生ごみ」拡大（新宿店）	カフェ・レストランテナントを中心に分別の徹底	「リサイクル生ごみ」量を前年対110%に拡大。	残念ながら前年比93%
(4)	リサイクル率の向上（新宿店）	テナントごとに月別リサイクル率を開示し、核テナントのリサイクルに対する意識を高揚させる。	リサイクル率を丸井G目標の「71.6%」に引き上げる。（新宿店69%+2.6P）	リサイクル率70%（量前年比103%+1P）

◎取組の実績と今後について

全体的に停滞気味。地道に少しづつ向上させる。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社ルミネ

◎環境・3Rに対する考え方

当社のサステナビリティ方針「WE ILLUMINATE THE FUTURE わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」の取り組みテーマの一つである「THE PLANET 環境と社会にポジティブな変化を」の重点項目「サステナブル消費の拡大」「資源循環、廃棄物／食品ロスの削減」「気候変動への取り組み」「サプライチェーンの環境／人権問題への対応」に基づき、3R推進に貢献する取り組みを推進します。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	使い捨てプラスチック削減の推進	対象テナントが衣料品に使用するプラスチックハンガーの回収場所を提供し、使い捨てプラスチック削減の推進に寄与する（ルミネエスト新宿）。		（ルミネエスト新宿）テナントショップ使用分580kgをリユース使用のため回収。
(2)	食品廃棄物の削減および食品リサイクルの推進	食品廃棄物削減と、排出される食品廃棄物のリサイクル回収（バイオガス発電に再利用）を継続する。 出店テナントへの分別徹底を維持するため、入店前のスタッフ研修にて分別の協力依頼、日常の監視と指導を行う。	（2030年度全社目標） 食品リサイクル：100%	（全社実績）リサイクル率：91.1% ＊ルミネ新宿、ルミネエスト新宿、ニュウマン新宿 リサイクル率100%
(3)	ゼロカーボンの推進： クリーンエネルギーの使用	脱炭素の取り組みを、JR東日本グループの「ゼロカーボン・チャレンジ2050」に基づき実行する。 各店使用するエネルギーのうち、主に電力・ガスに関して、クリーンエネルギーを導入する。	（全社目標：2013年度基準） 2030年度： カーボンハーフ 2050年度： ゼロカーボン	（全社実績） エネルギーメニュー切り替え率：11.6% (電気使用量のうち実質再エネ化率：4%) ガス使用量のうちカーボンニュートラル都市ガス使用率：88% ＊ルミネ新宿、ルミネエスト新宿 カーボンニュートラルガス使用)
(4)	ゼロカーボンの推進： 省エネの継続	脱炭素の取り組みを、JR東日本グループの「ゼロカーボン・チャレンジ2050」に基づき実行する。 各店設備投資（LEDや空調機器類）及び、日々のエネルギー管理の継続により、省エネを推進する。	（全社目標） エネルギー使用量原単位毎年1%削減	（全社実績） エネルギー使用量原単位前年比：87.9%

◎取組の実績と今後について

JR東日本グループ脱炭素目標「ゼロカーボン・チャレンジ2050」達成に向け、省エネ推進の継続と、実質再エネ化につながるエネルギー使用の切り替えを推進します。
また、お客様の生活導線にあるSCとして、お客様の3R推進アクションを創出する機会を検討します。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：株式会社エフピコ

◎環境・3Rに対する考え方

リデュース：食品容器の軽量化や薄肉化を推進し、減量資源の発生抑制を行う。

リサイクル：使用済み発泡トレー、PETボトル、透明容器の回収を拡大し、再商品化を行う。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	環境学習の機会提供のため出前授業や、オンラインによる講演を積極的に実施する。	出前授業等での外部聴講者数。 目標値： 3,000名 (前年150%)	出前授業等での外部聴講者数。 目標値：3,000名 (前年150%) 結果：5,100名 (目標比)
(2)	資源の店頭回収の推進	トレーtoトレー、ボトル toトレーのリサイクル を拡大するために、 回収量の増加を目指す。	食品トレー： 10,000t PETボトル： 50,000t	食品トレー：10,500t PETボトル：80,000t
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	プラスチック代替素材の 開発と、製品の取り扱い	商品ラインナップ 10種類	商品ラインナップ 10種類
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロ カーボンの推進)	■PPAの導入（太陽光発電） ■ゼロエミッション活動	2022年3月期 中に導入 廃棄物の最終処分率 1%未満	2024年3月 関西工場に導入 廃棄物の最終処分率 1%未満

◎取組の実績と今後について

工場見学の受付は 34年で50万人の受け入れをしました。今期は、出前授業等にも力を入れております、ユーザーのスーパーマーケット様との協業も進んでいます。また、西新宿6丁目にある東京本社の使用電力を、トラッキング付きの非化石証書を購入することで、CO2排出量を実質ゼロにしました。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：日本マクドナルド株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

環境に対する理念【地球の事を考えて行動する】を持って全国約3000店舗でレストランを営業させて頂いております。企業の責任として作る責任、つかう責任を常に考え、特にリデュース、リサイクルを促進していきます。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	プラスチック製容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	プラスチック製サラダ容器を紙製に変更	2023年内全国導入	2023年末全国導入完了
(2)	資源の店頭回収の推進	ハッピーセットおもちゃリサイクル回収の継続	年間300万個以上回収	年間約400万個回収
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	MFYシステムの維持向上	完成品廃棄量100万円当たり2.2kg以下	完成品廃棄量100万円当たり1.8kg
(4)	再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進	再生可能エネルギーに由來した電力導入	170店舗導入	2023年末約350店舗導入完了

◎取組の実績と今後について

全ての目標は達成、今後も継続して取り組みを推進して参ります。

3R推進行動計画書（令和5年度の取組）

事業者名：コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

「容器の2030年ビジョン」に基づき設計・回収・パートナーの3本柱で「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」を目指します

項目	取組内容	数値目標等	実績
(1) 「ボトルtoボトル」の更なる拡大	パートナーを協働し、使用済みのPETボトルを製品のPETボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル」リサイクル等を推進し、資源循環型社会の実現に貢献します	2030年までに「ボトルtoボトル」の推進等によりすべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切り替えます	42%
(2) プラスチック使用量の削減	製品の容器包装軽量化やラベルレスの導入の拡大を通じ、プラスチックの使用量を削減します	2030年までに2004年比で製品1本あたりのPET樹脂の使用量35%削減を目指します	30%以上
(3) リユーザブル容器の市場展開の拡大	「ボナクラ」（水の給水サービス）等を通してリユーザブル容器の市場展開の拡大を目指します		ユー・エス・ジェイ日本初試験導入 ファミマ!!麻布台ヒルズ店設置、他
(4)			

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿区商店会連合会

◎環境・3Rに対する考え方

地域環境に配慮しながら、地域の安心安全を実現する

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	ごみ減量等について会員へ周知	年1回	年1回の定時総会、常任理事会で周知
(2)	区民・来街者への啓発	エコバッグを作成しレジ袋の発行減を図る	年1回	連合会でふれあいフェスタへ出店しエコバッグ2,000枚を配布
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	食料品販売時における消費者への啓もう及びプラスチックトレーの減量、飲食店における食べ残しを無くすメニューの提案	食品ロス分とごみ減量による回収量の低減	飲食店を中心に食べ残しを削減するメニューの見直しを検討していただく

◎取組の実績と今後について

ゴミの減量は、環境面で大きな問題となっており引き続き啓蒙活動を行っていく

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：新宿区生鮮三品小売店連絡会

◎環境・3Rに対する考え方

環境への影響が少ない販売方法を工夫するなど、持続可能な循環型社会の構築に向けた取り組みを行っている。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	ばら売りの実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況に応じて実施する) オリジナルエコバックを作成し年末に配布予定	随時	
(2)	資源の店頭回収の推進			
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	一山売り販売の促進 ばら売り販売の実施 3Rに配慮した商品の実演 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況に応じて実施する)	随時	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)			

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：四谷清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

四谷清掃協力会の活動を地域に発信し、住民との対話を行いながら、ごみの減量化やリサイクルの適正化の普及活動を積極的に取り組む。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・3R推進事業者の情報について、各種会合等の場で周知。	年数回	年数回、役員会や女性部役員会で情報を共有した。
(2)	区民・来街者への啓発	①四谷リサイクルフェアを開催し、フリーマーケット等を実施する。 ②四谷ごみゼロデーに道路清掃活動を実施。 ③ごみ減量キャンペーンを実施し、ティッシュ・チラシを配布。	年1回 年2回 年2回	・毎年度10月に行う四谷リサイクルフェアに加えて3月にも臨時リサイクルフェアを実施した。 ・5月と11月に四谷ごみゼロデーで道路清掃活動を実施した。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	①マイバッグの持参 ②商品の簡易包装 ③環境に優しい商品の購入 ④ごみと資源の分別 ⑤繰り返し使えるものは繰り返し使う ⑥食品ロスの削減に向けての取り組み	毎日	・各会員が先内容の廃棄物削減に取り組んだ。

◎取組の実績と今後について

今年度は、3月にもリサイクルフェアを実施し、売上金50,125円を令和6年能登半島地震災害義援金として、日本赤十字社へ寄付した。

また、10月に実施したリサイクルフェア売上金211,410円のうち、105,705円を令和5年9月13日からの台風13号災害義援金として日本赤十字社へ、105,705円を地域福祉向上のため新宿区社会福祉協議会へそれぞれ寄付した。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：牛込清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

牛込地区の「エコなくらし」発言元として、牛込清掃協力会の活動を地域に周知しながら、ごみの減量化やリサイクルの適正化の普及など、3Rの推進に取り組む。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・3R推進事業者の情報を役員会、女性部会等を通して会員で共有する。	年1回	実施
(2)	区民・来街者への啓発	・10月の3R推進月間に、普及啓発用のチラシを町会掲示板へ掲示し、会員とその関係者へ配布。	・年1回 ・随時 ・年1回	実施
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・マイバッグ、マイボトル持参。 ・環境に配慮した商品を選ぶ。 ・エコクッキングを実践する。 ・リサイクルを徹底し、更にごみを減らす工夫をする。	・毎日	実施
(4)	エコ川柳の募集	・エコに関する川柳を作つてもらい、入選作を地域のイベント等で活用する。	年1回	実施

◎取組の実績と今後について

令和5年度より新たな試みとして、エコ川柳優秀作品選考会を12月4日に実施した。選出作品作者に記念品を送付し、今年の1月開催の牛込箇町域まつりにて、優秀作品を展示した。くわえて、選考作品のポスターを作成し、牛込地区では箇町管内、榎町管内、若松町管内に、また、全地区の町会掲示板に約1カ月間、ポスターを掲示した。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿西清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

新宿西地区の住民とともに、ごみの減量、3Rの推進に向けた様々な活動を行っていく。

項目	取組み内容	数値目標等	実績
(1) 事業者への理解と協力	廃棄物を少なくするためにごみ減量キャンペーン等に取り組む事で、事業者と協力して廃棄物の減量とリサイクルの推進を啓発する。	年1～2回	役員会等で情報を共有した。
(2) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量絵画展を開催する。 ・3R推進月間、食品ロス削減月間にポスターの掲示、チラシ等を配布。 	年1回 年1回	10月21日、新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催された「3R推進キャンペーン」でポスター掲示、チラシ等による周知を行った。
(3) ライフスタイルにおける3Rの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみと資源の分別を心掛け、ごみの発生を抑える。 ・マイバッグを持参し、環境に優しい商品の購入につとめる。 ・ライフスタイルを見直し、資源循環型ライフスタイルを積極的に行う。 ・ごみを出さない為に、余計なものは買わない。 	毎日	会員一人一人が買い物時にマイバッグを持参し、環境に優しい商品に留意しその購入に努めた。

◎取組みの実績と今後について

新宿西清掃協力会の理事である町会長・自治会長・組合長等を通じて、会員へ活動を広く周知する。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿区婦人団体協議会

◎環境・3Rに対する考え方

地区協などとも協力し、みどり豊かな新宿区を目指し、一人一人が心がけ、輪を大きくしていく。会員をはじめ、各団体にも周知していくよう頑張っていきたい。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	リサイクルについても変わ る予定と知ったため、ごみ 分別方法の詳細について説 明会をもっと多く実施して いきたい。	月1回の会食会に できれば毎回実施 したい。	
(2)				
(3)				

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和5年度の取組）

団体名：新宿区エコライフ推進協議会

◎環境・3Rに対する考え方

当会は、新宿区の環境基本条例に基づき区長から「エコライフ推進員」を委嘱された区民で構成する会です。自らエコライフを実践するとともに、地域においてその普及のための活動を行います。今年度第10として任命された推進員が、①みどり・生き物分科会、②ごみの減量とリサイクル分科会、③地球温暖化対策・エネルギー分科会に分かれ、研究及び普及活動を行っています。

項目	取組み内容	数値目標等	実績
(1) 事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員に周知	エコライフ推進協議会にて随時周知	エコライフ推進協議会にて随時情報を周知共有
(2) 区民・来街者への啓発	環境啓発行事における普及啓発(ごみ分別の展示等) パネルを使用した展示	「エコライフまつり」「まちの先生見本市」等毎年度参加	「エコライフまつり」「3R推進キャンペーン」「まちの先生見本市」に参加し普及と啓発活動を実施した
(3) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	マイバックの使用 過剰包装を断る ごみ分別の徹底	隨時	食品ロス・衣類ロス対策・ごみの正しい分別方法の徹底について周知啓発を行った

◎取組みの実績と今後について

ごみの現状を取り上げ、資源循環型社会を目指していくことにした。ごみの発生を抑え、食品ロスを減らす、使わないものは断る、資源として分別排出する。効果的に効率的に地域への普及と啓発を行うために、パネルを作成し各イベントで活用した。今後も引き続き、資源循環型社会を目指す活動に取り組んでいく。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

事業者名：NPO法人新宿環境活動ネット

◎環境・3Rに対する考え方

平成15年8月に発足した当NPO法人は平成16年から新宿区立環境情報センターの指定管理者として、自らごみ問題に関心を持つとともに、広く区民事業者「リデュース」から始まる3Rをくらしに生かす大切さに気づき、実践に移すことを目的に実施していく。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	イベント等でのマイバック持参の呼びかけ	イベント・講座の開催時には、マイバックを持参するよう呼びかける	主催イベント・講座の開催時には、マイバックを持参するよう呼びかけ、3R推進に向けた普及・啓発に努めました。
(2)	資源の店頭回収の推進	3Rにかかる講習会の実施 新宿区立環境情報センターでの資源回収の推進	3Rに関連する講座を2回実施予定 廃食油の回収、エコキャップの回収などを実施	環境学習情報センターで衣類回収を行うなど3R講座を実施したほか、「リサイクルステーション」を設置し、区民から小型家電や電池、インクカートリッジ、廃食油等を回収しました。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	再生品の積極的な購入	コピー用紙は再生紙を購入	コピー用紙は再生紙を購入するなど、環境配慮製品を積極的に選択しました。
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	新宿区立環境情報センター及び区民キャラリーのごみ分別の推進及びごみ排出量削減	前年度輩出したごみの量より削減	コロナ禍を経て活動量が増加したことで、可燃ごみの量は約18%増加しました。今後も活動を推進しながら、削減に努めてまいります。

◎取組の実績と今後について

引き続き、「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて、区民・事業者などさまざまな皆様とパートナーシップを組みながら、率先した取り組みを継続してまいります。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿区のリサイクルを考える会

◎環境・3Rに対する考え方

次世代を担う子供たちに良い環境を残すために、地球を汚さないいろいろな工夫を、講座やイベントを通して区民に平易な言葉で伝えていく。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員で共有・発信する。 イベントの開催に協力する。	宣伝周知チラシや情報打合せ会で伝え、話し合う。新宿リサイクル活動センターの取り組みにできる限り協力する。	紙おむつリサイクル協会会長との話し合い
(2)	区民・来街者への啓発	3Rに係る講習会の開催。 環境リサイクル講座やイベント参加を通して情報提供と啓発活動。 (10月の3R協議会のイベントと、新宿リサイクル活動センターが開催するイベント3月・11月に参加)	環境リサイクル講座は年19回開催。 目標参加者数152名。(MAX8人×19回) 3Rパネル展は参加予定。環境リサイクル講座の充実に専念する。	3R推進キャンペーン、消費生活展、子ども祭等でパネル展示
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	日々の生活の中で、風呂敷を活用し、マイバック、マイボトル、マイ箸をできるだけ持ち歩く。食品ロス削減に尽力する。マイクロプラスチック削減のためライフスタイルを見直す。(自然素材のものを身につける等各自努力する。エコキャップを素材としてリサイクルできることを周知する)	各自が日々の生活の中で取り組む。	

◎取組の実績と今後について

今年度は製品プラスチックのリサイクルの課題、家庭ごみ有料化等について、調査し、考えたい。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿環境リサイクル活動の会

◎環境・3Rに対する考え方

次世代を担う子供たちに良い環境を残すために、地球を汚さないいろいろな工夫を、講座やイベントを通して区民に平易な言葉で伝えていく。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員で共有・発信する。 イベントの開催に協力する。	宣伝周知チラシや情報を打合せ会で伝え、話し合う。新宿リサイクル活動センターの取り組みにできる限り協力する。	新宿リサイクル活動センターでの共同講座において全面的に協力し合った。
(2)	区民・来街者への啓発	3Rに係る講習会の開催。 環境リサイクル講座やイベント参加を通して情報提供と啓発活動。 (10月の3R協議会のイベントと、新宿リサイクル活動センターが開催するイベント3月・11月に参加)	環境リサイクル講座は年19回開催。 目標参加者数152名。(MAX8人×19回) 3Rパネル展は参加予定。環境リサイクル講座の充実に専念する。	令和5年度は合計19回開催。 応募者220人、参加者138人、スタッフ82人。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	日々の生活の中で、風呂敷を活用し、マイバック、マイボトル、マイはしをできるだけ持ち歩く。食品ロス削減に尽力する。マイクロプラスチック削減のためライフスタイルを見直す。 (自然素材のものを身につける等各自努力する。エコキャップを素材としてリサイクルできることを周知する)	各自が日々の生活の中で取り組む。	日々の生活の中で各自取り組んだ。

◎取組の実績と今後について

今まで通りの啓発活動を続けることができた。受講生の世代が徐々に広がってきた。女性だけでなく、男性にももっと受けてもらいたいと考えている。会員数は増加しているので、この努力を引き続き重ねる。新しい講座プログラムも増やす。新宿リサイクル活動センターのニュース原稿でも環境問題への啓発活動を続ける。

3R推進行動計画書（令和5年度の実績）

団体名：新宿区立リサイクル活動センター
 （公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター）

◎環境・3Rに対する考え方

当財団は指定管理者として、新宿リサイクル活動センター及び西早稲田リサイクル活動センターの運営を行っている。リサイクル活動センターが運営理念とする「3R、つなぐ、育む、まわるまち」の実現を通して、新宿を「資源」が循環し、人や組織の持つ暮らしの工夫や知恵、3Rの技術がまわる、資源循環型のまちにしていくための事業を実施する。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「たのしくリサイクル」の発行 ・ホームページによる情報発信 ・環境学習、施設見学等の受入れ ・環境、リサイクルイベントの企業、団体等の参加協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回 ・随時更新 ・年20回 (延べ150人) ・年3回 (延べ60企業、団体等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回 ・随時更新 ・年37回 (延べ271人) ・年3回 (延べ37企業、団体等)
(2)	区民・来街者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・リサイクルイベントの実施 ・3R普及啓発ミニ行事 (フリーマーケット、洋服ポスト、フードドライブ) ・チラシによる講座等の周知 ・環境、リサイクル講座の開催（協働型講座、直営型講座、出前講座） ・ホームページでの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回 ・月4回（フリマ） (5週目の土日等を除く) ・月1回（洋服ポスト） ・月2回（フードドライブ） ・毎月1回発行 ・協働講座：年28回 直営講座：年12回 出前講座：年14回 ・随時 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回 ・月4回（フリマ） (5週目の土日等を除く) ・月1回（洋服ポスト） ・月4回（フードドライブ） ・毎月1回発行 ・協働講座：年28回 直営講座：年12回 出前講座：年14回 ・随時
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収ボックス等の設置 ・事務所にて廃食油の回収 ・リサイクルショップ「もいちど俱楽部」の運営 ・家具リユース事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・9品目の回収 ・回収量600L ・利用登録者 2,000名 ・販売点数 42,000点 ・販売率 80% ・家具販売点数 460点 	<ul style="list-style-type: none"> ・9品目の回収 ・回収量597L ・利用登録者 2,017名 ・販売点数 40,500点 ・販売率 80.2% ・家具販売点数 530点

◎取組の実績と今後について

令和5年度は、イベントは、規模を縮小しながら開催した。そのほかの事業では通常通り実施し、おおむね目標を達成することができた。引き続き着実な事業運営を心掛け、区民の3R活動の拠点施設としての事業を展開していく。

3R推進行動計画書

(令和5年度の実績)

新宿区

◎環境・3Rに対する考え方

令和5年2月に新宿区は「一般廃棄物処理基本計画」を改定し、「食品ロス削減推進計画」を策定した。3Rの一層の推進のため、①食品ロスの削減、②プラスチックごみの削減・資源化、③家庭ごみの分別の徹底を掲げている。

項目	取組み内容	数値目標等	実績
(1) 普及啓発及びその他体制の整備・拡充	広報紙、ホームページ、環境学習、行事での普及啓発 リサイクル活動センター、環境学習情報センターによる普及啓発事業	随時 随時	・食品ロス削減啓発動画4本の配信 ・食品ロス削減ハンドブック1,000部の配布
(2) 事業者、区民団体が行う3R活動の広報	イベント等の実施 区広報による周知 ホームページでの周知	開催 随時 随時	・3R推進キャンペーンイベントを実施し、約300名が参加 ・本庁舎にて3Rパネル展を実施
(3) 適正なごみ処理とリサイクルの推進	「ごみ半減、リサイクル倍増」に向けた区民への排出指導や資源回収への支援 分別の徹底による資源化の推進 新宿区環境マネジメントシステムの推進による、区役所から出るごみの削減	令和4年度区民一人 1日あたりごみ量 535g 区役所から出るごみ量：前年度比1%減	令和4年度区民一人あたりごみ量 535g 区役所から出るごみ量：集計方法の変更により実績なし
(4) 各種調整等	新宿区3R推進協議会全体会、分科会の開催		全体会 3回開催 イベント実行委員会 6回開催

◎取組みの実績と今後について

令和5年2月に策定した「新宿区一般廃棄物処理計画（改定）」及び「新宿区食品ロス削減推進計画」に基づき、ごみ量の削減、食品ロスの削減を一層推進していきます。